

神棚拝詞

此の神床こ かむどこ まに坐すか 掛けまくも畏かしこき 天照大神あまてらすおおみかみ

産土大神等うぶすなのおおかみたちの大前おおまえを拝おろがみ奉まつりて 恐かしこみ恐かしこみも白もうさく

大神等おおかみたちの広ひろき厚あつき御恵みめぐみを辱かたじけなみ奉まつり 高たかき尊とうとき神教みおしええのまにまに

直なおき正ただしき真まごころ心まごころもちて 誠まことの道みちに違たがふことなく

負おひ持いつ業もに勤わざしみ励いそましめ給はげひ 家門たま高く 身い健えに

世よのため人ひとのために尽つくさしめ給たまへと 恐かしこみ恐かしこみも白もうす